

# ヤングミセス通信

発行者：愛知県海部農林水産事務所

農業改良普及課

〒496-8532 津島市西柳原町

1-14

今回は動植物の基本的性質です。

## 1 動植物の基本的性質について

2組の基本的性質があります。

### (1) 「栄養成長」と「生殖成長」

動植物は「栄養成長」と「生殖成長」を繰り返して次世代に命を繋いでいます。動植物は「栄養成長」により個体を維持し、「生殖成長」により種族を維持しています。

農業は作物が次の世代に命を繋ぐ営みを収穫時期まで健康に続けられるようサポートする仕事です。

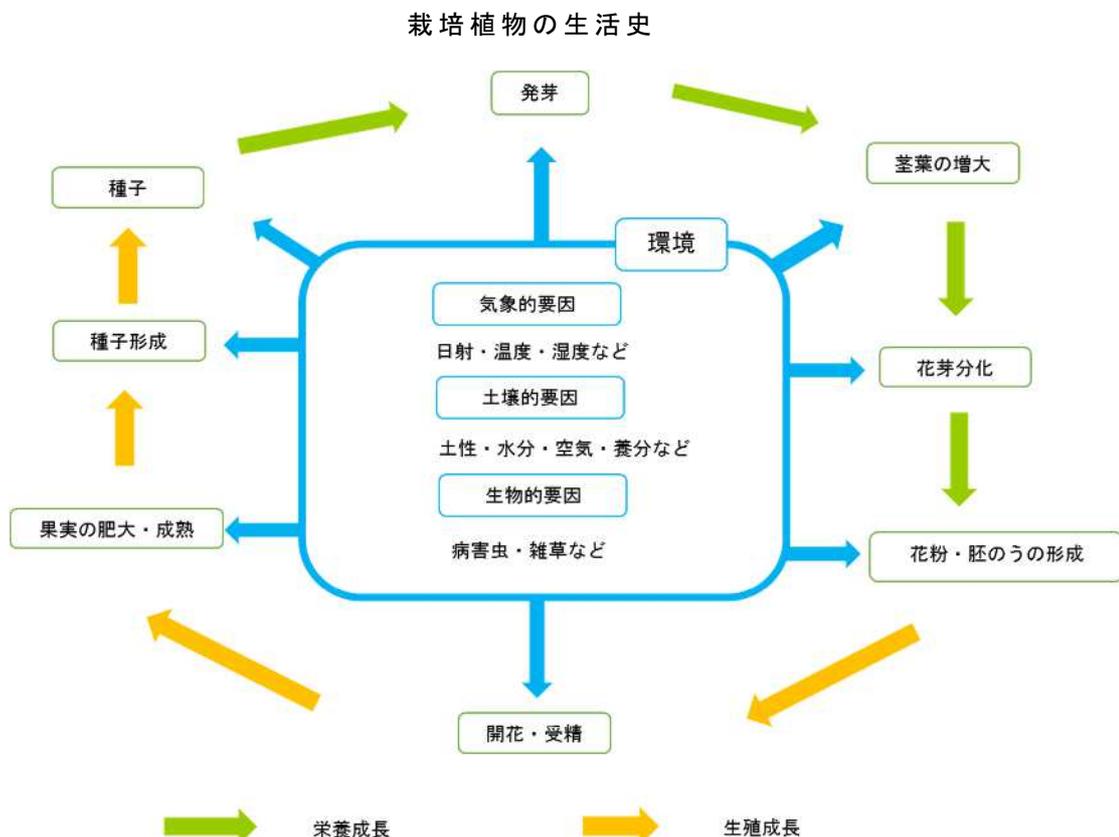
### (2) 「遺伝性」と「変異性」

多くの動植物は、生育に適した環境では「遺伝性」が強くなり、不適な環境に置かれると「変異性」が強くなります。

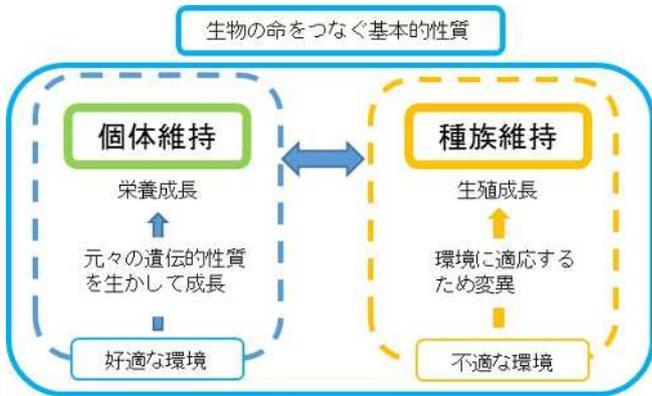
「遺伝性」：親の遺伝子を子に正しく伝える性質

「変異性」：親の遺伝的性質を変化させ子に伝えるための性質

この基本的性質は、環境の変化に対応するため、**遺伝的多様性**を確保して、いずれかの個体を生き残らせようとする**戦略的な性質**です。



この性質を巧みに発揮させ、個体または集団として多様な環境に対する適応力を高めています。

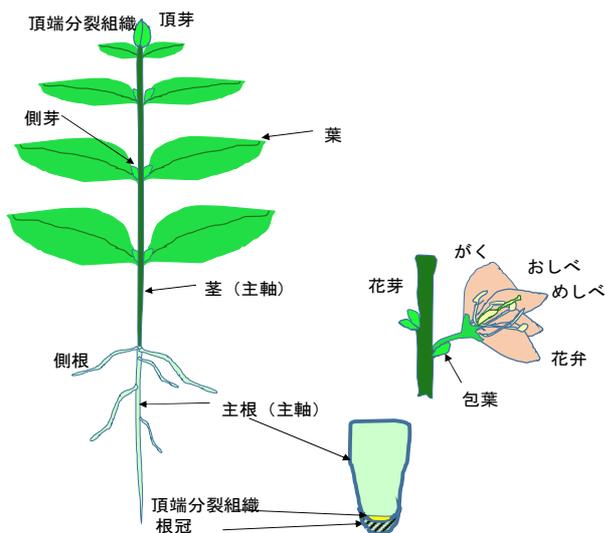


## 2 植物の特徴について

### (1) 移動性が低い

植物は、地面に根で身体を固定し、動物のように自由に動き回ることができません。

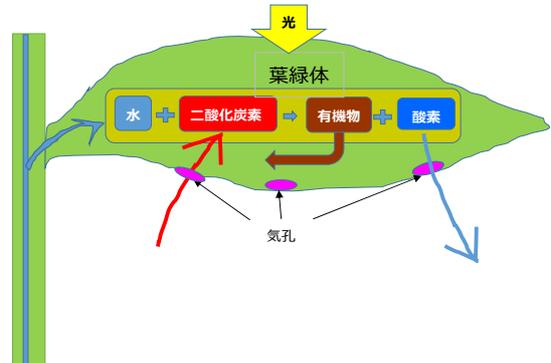
雨、風や動物の力を利用して移動する種子や植物体もあります。(タンポポの種子、牧草の種子、宿り木など)



出典：「図解でよくわかる農業のきほん」(誠文堂新光社)、「光合成と呼吸」(国文社 HP)

### (2) 光合成

植物は、太陽光の「光エネルギー」を使い、葉の「葉緑体」で「気孔」から吸収した「二酸化炭素」と根から吸収した「水」から、「有機物」と「酸素」を合成しています。



### (3) 昼の顔と夜の顔

「昼」は「光合成」と「呼吸」を同時、「夜」は「呼吸」を行い、光合成で合成した養分を他の器官に「移動(転流)」させ、利用し、貯蔵しています。

